

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【社会科】

1. 対象

学習に対しては苦手意識をもつ生徒が多いが、その中でも各教科の授業に真面目に取り組む雰囲気があり、意欲的に活動に参加する生徒がいる。消極的な姿勢で授業に臨む生徒も若干名見られるのが現状ではあるが、ロイロノートを活用しながら自身の考えを整理させ、思考力や判断力を高める工夫をしてきた。ロイロノート上で各々が提出した考えを類型化したり、組み合わせたりして新しい考えを生む活動を繰り返すことで、考える力が身に付き、公民的な見方・考え方が養われることを期待している。基礎知識を身に付けることにも十分な時間をかける必要があるが、それだけに留まらず思考力・判断力・表現力を磨く活動を増やすことで、生徒の意欲が高まり、身に付けた知識が活かせる学習を進めていきたいと考えている。

2. 単元名「現代の民主政治」（全5時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

【単元を貫く課題】「私たちの願いを実現し、政治を通してよりよい社会を創るために、私たちはどのように政治に参加していくべきか」

知識及び技能	- 政治や議会制民主主義の意義や基本的な考え方について理解している。 - 多数決の原理とその運用のあり方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身に付けている。 - 最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞記事やインターネットなどを活用して資料を収集し、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、まとめたりしている。
思考力，判断力，表現力等	- 議会制民主主義や多数決の原理について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用し多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 - 選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気付き、望ましい政治参加のあり方について、資料や話し合いなどを通じて多面的・多角的に考え、自分の考えをわかりやすく表現している。
学びに向かう力，人間性等	- 身近な生活と政治とのかかわりに関心をもち、身のまわりの社会的な事象から政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の政治の課題について主体的に追究している。 - 単元を貫く課題「私たちの願いを実現し、政治を通してよりよい社会を創るために私たちはどのように政治に参加していくべきか」の解決に向け、みんなで話し合って決定するという民主政治の基本的な考え方に立ち、主体的に話し合いに参加し、考えようとしている。

4. 本時の目標

生徒が市長選挙の各候補者の政策を市民の立場から分析する活動を通して、政治について関心を高めることができる。また、政治が身近なものであることや、主権者として政治に積極的に参加することが大切であることに気付くとともに、市の課題を踏まえて課題解決や将来の展望について、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

5. 授業展開【本時・単元】

解決したい課題や問い		
A～D候補のうち、誰を市長に選ぶべきだろうか？		
考えるための材料①	考えるための材料②	考えるための材料③
A～D候補の土地利用案 (工場の県外移転による空き地利用)	S市に関するデータ ①S市の人口と世帯数 ②S市の主な施設 ③市民へのアンケート調査の結果	6名の市民の声
【想定される活動】		
A候補(総合公園の建設)を支持 S市は人口も減少しているし、高齢化も進んでいる。全面芝生の広場やスポーツ施設、子どもの遊具コーナーを備えていれば、若い家族が定住すると思う。また、総合公園は災害時には住民の避難場所にもなるから安心して暮らすことができる街づくりを進めることもできる。4つの中では最も建設費用も安いことも魅力である。		

B候補(ごみ処理施設の建設)を支持

S市の現在のごみ処理施設は維持費だけで年間2億円がかかっている。新しいごみ処理施設を建設すれば、この維持費を削減することもできるし、市民からは「環境に配慮した施設」や「財政に負担がかからない施設」を造ってほしいという要望もある。この施設の建設は、ごみ発電によるエネルギーの有効活用や二酸化炭素の排出削減にもなるので、環境を大切にしたい町づくりをアピールに繋がる。

C候補(体験型テーマパーク)を支持

S市の歴史や文化などを学ぶことができるテーマパークは、家族連れで楽しむことができる施設になる。市外からの客によってX市の魅力を発信するきっかけにもあると思う。工場の移転により、市民が働く場所も減ってきている現状がある。このテーマパークで従業員をX市民から採用すれば、多くの雇用を創出することができる。

D候補(総合福祉センター)を支持

S市の65歳以上の割合は28%であり、超高齢社会となっている。15歳未満の人口も低く、少子高齢化が進んでいる。介護施設と保育所を併設する総合福祉センターは、介護と育児の充実が求められるX市には必要不可欠である。「X市には子どもを預ける場所が少ない」という市民の声もあるので、仕事と育児の両立を目指し、安心して子育てができる環境を整えるべきである。

対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

【全体(5分)】

- ・本時の学習内容をロイロノートで説明する。その際、課題設定を行う。

【個人活動(15分)】

- ・自分が支持する候補者とその理由を、効率と公正の観点から考える。
- ・他の3人の候補者を支持しない理由を、効率と公正の観点から考える。

【小集団活動(15分)】

対話や思考のプロセス

- ・「A候補の主張について、避難場所になったり、建設費用がかからなかったりするのがメリットだけど、若い人の定住や家族連れが楽しめる施設に繋がるのかな？」
- ・「B候補の主張について、環境に配慮した町づくりの一助になることは間違いないけど、稼働中のごみ処理場があるから、今それを建設する必要はないと思う。もっと優先すべきことがあると思う。」
- ・「C候補の主張について、雇用を生み出すことは少子高齢化が進むS市にとっては最優先課題だと思う。でも、テーマパークが町の活性化に繋がるのかな？需要はあるのかな。」
- ・「D候補の主張について、少子高齢化が進むS市にとっては介護サービスの充実と育児のための環境整備は重要な。でも、50億円という建設費用は財政が圧迫してしまうのではないかな。」

【全体(3分)】

- ・ロイロノートのアンケート機能を活用し、A～D候補へ1人1票、投票をする。なお、最初の自分の考えと、小集団活動を経て形成した考えに違いが生まれ、支持する候補者を変更してもよい。

【個人活動(12分)】

- ・本時のまとめ『投票をする上で大切にすべきことは何だろうか』を考える。
- ・『私たちの願いを実現し、政治を通してよりよい社会を創るために私たちはどのように政治に参加していくべきか』という単元の課題を共通理解することで学習の見通しをもたせる。

効率…予算を無駄なく使い、市民の満足の全体量を増やす。

公正…市民の多様な利益や損失に配慮する。

学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

- ・「選挙とは、税金の使い方や社会のルール作りに対して、主権者である私たちの意思を反映させる貴重な機会であることをしっかり理解しなければならない。」
- ・「候補者たちの主張をただ整理するだけではなく、市の現状についての情報もきちんと集めて、自分たちの未来のために、正しい判断で投票しなければならない。」
- ・「自分たちのような若い世代でも、社会を創っているという当事者意識をもたなければならない。」